

2008年11月14日

## ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 2008年6月株主総会 議決権行使結果について

～取締役選任議案への反対比率は8.7%に上昇～

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO: ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は、2007年7月から2008年6月までに開催された投資先企業1,977社の株主総会における議決権行使の結果をとりまとめました。「取締役選任議案」については、評価基準をより適切なものに見直しました結果、計1,741議案のうち151議案に対して反対行使を行ない、反対比率は8.7%となりました。行使結果の詳細は、別表「議案別議決権行使状況」のとおりです。

日興 AM は、投資先企業の議決権行使を適切に行なうことを通じて、確実に受託者責任を果たすことを目的に2002年に「議決権等行使指図ガイドライン」を制定しました。同ガイドラインは適宜・適切に改訂しており、直近では2008年5月、取締役選任議案等に関して、新たに「株主資本利益率(ROE)」を評価基準として採用するなどの変更を実施しました。この結果、取締役選任議案についての反対比率は前期(2006年7月から2007年6月)の5.0%から3.7ポイント上昇しました。

また、「その他会社提案議案」のうち、いわゆるポイズン・ピルなどの買収防衛策議案については、計213議案中、210議案に対して反対行使を行ないました。日興 AM は「議決権等行使指図ガイドライン」において、いわゆる買収防衛策議案については原則として反対することを定めており、反対比率は98.6%と、前期(97.6%)に引き続き高い水準となりました。

株主提案に関しては、前期は賛成比率が13.8%であったものが、今期は8.0%に低下しました。この変化の要因に関しては、株主と投資先企業の経営陣との対話がより活発になったことにより、株主総会前に株主からの提案の実行が約束されるケースが増えてきたことで、提案自体の必要性が低下したことが大きいと考えています。

日興 AM は、今後も引き続き、投資先企業の経営陣との積極的な対話などを通じて、受託者としての責任を積極的に果たしてまいります。

以上

## [別表] 議案別議決権行使状況

### 1. 会社提案

総会議案	計	賛成	反対	反対比率	[参考] 前期の 反対等比率 <sup>※1</sup>
剰余金処分	1,419	1,409	10	0.7%	0.8%
定款一部変更	773	544	229	29.6%	21.4%
取締役選任	1,741	1,590	151	8.7%	5.0%
監査役選任	1,829	1,268	561	30.7%	26.9%
退職慰労金支給	729	511	218	29.9%	29.3%
役員報酬額改定	224	220	4	1.8%	2.7%
新株予約権発行	234	156	78	33.3%	46.4%
再構築関連	73	70	3	4.1%	4.5%
その他会社提案	826	587	239	28.9%	19.8%
うち 新株予約権発行(買収防衛策)	213	3	210	98.6%	97.6%
会計監査人選任	115	113	2	1.7%	11.8%
その他会社提案	498	471	27	5.4%	3.2%
総計	7,848	6,355	1,493	19.0%	16.2%

※1 棄権を含む。

### 2. 株主提案

総会議案	計	賛成	反対	賛成比率	[参考] 前期の 賛成比率
剰余金処分	8	2	6	25.0%	38.1%
役員選解任	12	1	11	8.3%	9.1%
その他(定款変更含む)	55	3	52	5.5%	4.2%
総計	75	6	69	8.0%	13.8%

## 日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来約半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家の皆様には多様な金融商品を、機関投資家の皆様には投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客様に提供されています。日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に主に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客様のニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

日興 AM は、国内初の社会的責任投資(SRI)ファンド『日興エコファンド』を 1999 年に設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行ってきた取り組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、モーニングスターなどの外部評価機関から、2004 年以降毎年権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ\*の運用資産残高は約 12 兆円に上ります(2008 年 6 月末現在)\*\*。基本的なものから革新的なものまで約 240 種類の公募投資信託を取り揃え、個人投資家、機関投資家の皆様の幅広いニーズに応えています。東京、ニューヨーク、ロンドン、シンガポールに拠点を構え、550 名を超える従業員を擁します。

\*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含みます)。